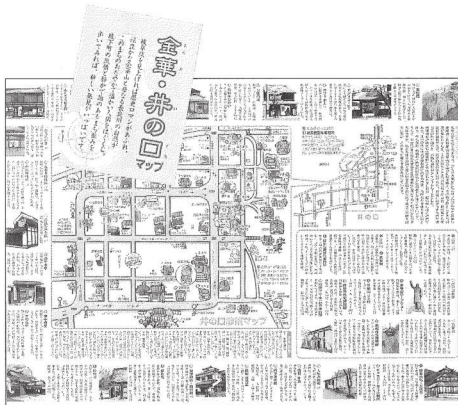


井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
 発行・平成30年10月15日・第22号通信
 責任者・小林 孝夫 (井の口まちづくり会会長)
 〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760
 事務局長・名和 利夫 ☎058-263-0097
 通信作成・馬場わかよ bwakayo@sf.commufa.jp

「金華・井の口マップ」4訂版が完成しました

「金華・井の口マップ」をご活用ください
 井の口まちづくり会の活動区域である井の口エリアの情報を満載した「金華・井の口マップ」。まちの紹介や散策に役立てていただけることを願って作成しています。
 マップを置いていただける商店・企業様、またご入用な個人やグループ、エリア外の方にも無料で差し上げています。
 通信右上記にある会長・小林、または事務局長・名和まで、電話にてご連絡ください。
 (広報通信作成部会)



カワセミブルーの新マップ、ご覧いただけましたか？
 井の口まちづくり会 会長 小林 孝夫
 会員手作りによる「金華・井の口マップ」改訂版が完成しました。ご協力をいただいた方々、特に協賛いただいた方々に厚くお礼申し上げます。
 初版制作は、まちづくり会の発足に合わせ「わがまちを知る」ことを目的に、会員らが目と足を使い、聞き取りを重ねて平成21年4月に3万部を作成しました。その後、残部が無くなることに息づくまちの変遷に合わせた改訂を加え、今4訂目で総数15万部をお届けすることになります。

今回の改訂版では、表紙の色彩を淡いカワセミブルーに替え、これまで2色刷りであった地図面をフルカラーにし、見やすくさせていただきました。新たな情報も紙面構成上限界がありますが数多く盛り込んでおり、来街者の方々にもこれまで以上に満足していただけるものと思います。
 改訂作業を重ねるたびに思うことは、まちの魅力の奥深さを感じ取れることです。また、このまちにお住まいの方々の人柄の温かさにも何度か触れることができ、この事業を続けられていると感じています。
 皆さまも地図を片手にぜひわがまちを散策してみてください。きっと、これまで気づかない新たな発見に遭遇することと思います。当まちづくり会でも、さまざまな事業で今後もマップを活用してまいります。
協賛助成をいただいた商店(企業)・施設様
 オンダ特許 画廊 光芳堂 十八楼 十六銀行岐阜中央支店 正法寺 ふくろう絵工房 妙照寺安藤商店 奥田銃砲店 かわらや 川出医院 岐阜観光索道 飛騨牛かわい 平成調剤薬局 丸市木村商店 萬松館リンク T.A.E.設計 東亭食堂 宇野カバン店 小原屋商店 カフェ茶屋 ギャラリー小さい家 きんか旅館 金華昆虫博物館 名和パーク 松栄堂 名和長本店 のやま亭 売店植木屋 売店むらせ ヤジマコーヒー 楽市楽座 わいわいハウス金華 ヤマラー ならふ現代 しんめ(敬称略)

[まちなかアート部会]
「金華・井の口マップ」4訂版発行記念共催

まちなかお月見アート

10月21日(日)
第1部 17:30~19:00
妙照寺集合(受付17:00)
参加費無料 小雨決行

10月21日は旧暦九月の十三夜。美しいお月さまが金華山頂に現れるその日に、新しいマップを開いて「まちを知る！質問タイム」のあと、妙照寺の鐘をついてスタートします。ススキ飾りの町並みをまちづくり会員がマップを使って案内、お月見のビュースポットを巡ります。当夜は大仏殿の夕刻特別拝観や般若寺の庚申堂特別公開のほか、ふくろう絵工房にてぜんざいの振る舞いもあります。



定員*50名程度 *お子連れ歓迎
申込*080-2638-6876 (伊藤)

お月見コンサート 主催・般若寺

第2部 19:15~20:00 般若寺庫裡

出演*ブレンドコーヒー
 アコースティックギター演奏と歌

お月見の花生け
大仏殿東側 妙照寺門前
華久によるお月見アートの展示

*ススキの配付 10月20日(土) 13:00より
 会員が用意したススキを、ふくろう絵工房(伊藤)と光芳堂(杉山)にて、玄関先にお月見の演出をしていただける方に無料配付いたします(無くなり次第終了)。

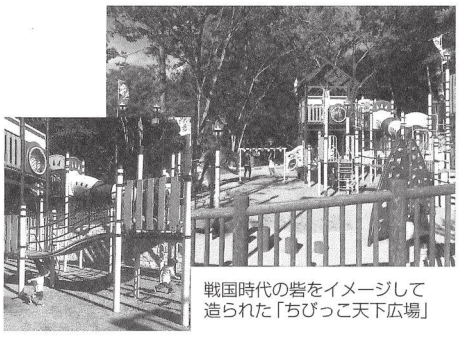
会員限定企画・日帰りバス視察研修 [まちの風景検討部会]

越前おおの
 ~400年以上続く城下町と寺町の景観~

越前大野城は、天正4年頃(1576)、織田信長より大野郡を与えられた金森長近により約4年の歳月をかけて築城されました。城下は、京の都に模して碁盤の目のまちづくり。寺町は、町の東端に各宗派の寺院を集め「寺町」としました。この名称は行政上はありませんが、城下町大野を象徴する町並みになっています。
 岐阜を出発後、名神高速道路、北陸自動車道を進み越前大野に到着。昼食後はまちの成り立ちの説明、地域住民の方々との意見交換会、「寺町」地域の現地見学を予定。帰路は、九頭竜湖、油坂峠を経由し、東海北陸自動車道で岐阜帰着を予定しています。

11月4日(日)
参加費 4,000円(昼食付き)
定員 45名(まちづくり会員限定)
受付開始 10月15日午前9時より

- 申込み先 正法寺大仏殿受付へ届け出 ※裏面申込書により先着順で締切ます
- 参加費用 4,000円(昼食料金込み) 集合場所受付にて当日の納金 ※11月1日以降のキャンセルには、参加費を後日徴集させていただきます
- 集合日時 11月4日(日) 午前7時(7時30分出発) (帰宅時間は18時30分頃を予定)
- 集合場所 岐阜公園・名和昆虫館東側



戦国時代の砦をイメージして造られた「ちびっこ天下広場」

まちなかお宝アート発見
子供たちの歓声が響く「ちびっこ天下広場」オープン!

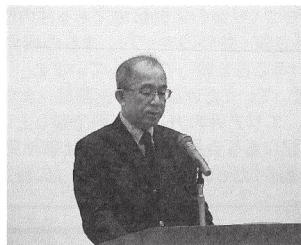
今年3月末、子供遊具施設「ちびっこ天下広場」がオープンしました。場所は、岐阜公園内といっても道路をはさんだ北側、御手洗池の近くで、市営駐車場入口の東に位置します。
 ここしばらく岐阜公園には、子供を遊ばせる専用の場所がなく、地域の方からの要望も多かった待望の子供用施設の誕生です。
 戦国時代をイメージした地上3階の物見やぐらを中心に、延長約14mのロングスライダーやウォールクライミングなどを設置。よちよち歩きの幼児から高学年の子まで楽しめる工夫がしてあり、近隣住民のみならず子育て世代の市民にとっても、岐阜公園で長時間滞在できるうれしい施設となることでしょう。
 オープンしたばかりの桜の季節に出向いたときは、春休みということもあって大勢の子供たちとその保護者で大盛況でした。今回、秋分の日、3連休初日に出かけてみましたが、子供たちの姿はまばらで少し寂しい写真となりました。次は、子供たちの歓声と笑い声があふれることを期待しています。(馬場わかよ)

平成30年度定期総会を4月29日に開催しました

本年度総会は、井の口エリアにお住まいの岐阜市副市長浅井文彦様をお招きして開催しました。また、市役所の所管担当部長以下多くの幹部職員、並びに日頃からお世話になっている岐阜市にぎわいまち公社、自治会関係者、在任市議会議員のご臨席も賜り滞りなく終了しました。

議案の一つである役員改選も左記のとおり決しまして、一同新たな気持ちで本会発足11年目の事業に臨んでおります。

これまでの本会活動は、役員や部会員の努力と行政のサポート等によって内外から一定の評価をいただいています。しかし、エリア外の事業参加者に比べて地域の方々の参加が思わしくないことが残念です。皆さま是非、誘い合わせの上の参加をお待ちしています。(小林孝夫)



特別講演 「景観の視点からみた『まちづくり』」

講師 岐阜市景観審議委員 伊藤 栄一氏



伊藤氏は岐阜大学農学部助教授として萩原町に赴任。以来、「森」を地域を支える原動力と捉え、大学を早期退職後、森林研究者として「森のなりわい」研究所を設立。緑化の立場からまちの景観をアドバイザーされています。

「40万都市に自然があることは評価できるが、金華山があるから岐阜市は緑化率が5%（名古屋は12%）と少ない」と聞き、各家庭でも木や花を育て、緑豊かなまちにしたいと思いました。(馬場)

井の口まちづくり会役員

- (平成30年・31年度)
- 特別顧問 周 達夫
相談役 杉山 秀和
会長 高橋 和生
副会長 高橋 ずえ
小林 孝夫
伊藤 智夫
伊藤 逸夫
*まちなかアート部会長 利夫
事務局 名和 利夫
*まちの風景検討部会長 学史 (新任)
事務局次長 片岡 学史
会計 後藤 勝利
監査 杉山 利夫
安藤 幸延
岩佐 純一
*まちの歴史探索部会長 雅子
片岡 直和
加野 恵明
川島 教子
神山 久子
高橋 英和
武井 憲和 (新任)
◎林 馬場わかよ
*広報通信作成部会長 喜彦
森 喜彦

【事務局次長就任にあたり】

◎片岡 学史 (大仏町)

2年前に還暦を迎えました。ご多分に漏れず「岐阜には何もない」と思慕してきましたが、本会のさまざまなイベントを通じ、自身の住むまちの古くて新しい魅力をたくさん知りました。地域への恩返し、微力ですが頑張ります。

【井の口LOVE】

◎林 憲和 (松山町)

岐阜で生活しながら結果として地元を背を向けて生きた60年。これからは井の口タウンサーバントとして、まずは井の口を愛し、知ることを目指し、共に学び活動したいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

平成30年度「まちの文化的建造物」顕彰発表



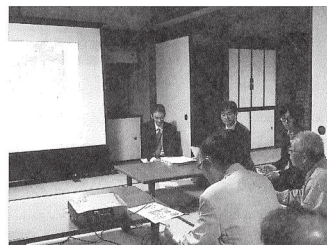
- 上茶屋町 齋場好弘 郎
上茶屋町 齋場浩司 郎(蔵)
下茶屋町 市原 郎 (蔵)
今町2丁目 川出 郎 (蔵)
大宮町2丁目 円空美術館

井の口まちづくり会・各部会活動報告

まちの風景検討部会 まちの景観勉強会

3月29日(木)正法寺庫裡にて、今後のまちの景観を、井の口地区の中央を走る岐阜駅高富線という具体的事例で考えてみる勉強会を開催しました。高富線の整備事業は平成27年5月の竣工です。

当日は、事業を担当された岐阜市道路建設課石原課長、河村主幹兼係長他1名を講師に招き、1時間の事業の説明後、質疑応答に入りました。参加人数は23名で、参加者からは、新たな道路の管理、車両の通行等利用者サイドの意見が多く聞かれ、この事業でまちの風景・景観が大きく変わり良くなったとの感想でした。(名和利夫)



景観勉強会の様子

まちなかアート部会 まちなかセタコンサート

7月7日(土)の夜、恒例のセタコンサートを般若寺を会場に開催しました。台風7号の接近により、5日、6日には大雨洪水警報が発令された悪天開催でした。そんな雨にもかかわらず役員各位の協力を得て、七夕の笹飾り、竹筒のキャンドルを参道に並べ、来場いただいた皆さまを温かく迎えることができました。

出演いただいた「茶人」奥さま・山崎由紀子さんの奏でる三味線に合わせ、童謡、民謡、演歌20曲ほどを歌い、アットホームで和やかな雰囲気の中で、例年より少ない30名の井の口ファンが集いました。(伊藤逸夫)



三味線の演奏に合わせて歌うコンサート

まちの歴史探索部会 岐阜城をめぐる今昔物語

岐阜市のシンボルである岐阜城の歴史をテーマに、9月29日(土)台風24号が迫る予報の中、妙照寺にて歴史博物館の中島雄彦氏にお話しいただきました。



歴史博物館学芸員・中島雄彦氏



岐阜城が城として機能した65年間に、斎藤道三から最後の城主織田秀信まで、まさに戦国乱世の武將達が岐阜城城主として戦国の時代を生きていたこと。信長の時代を除き、岐阜城も何度となく戦に巻き込まれた時代があったことなど、各城主のエピソードを交え、岐阜城の時代の変遷をわかりやすく説明いただきました。特に、プロジェクトによるその時代の古地図や古文書の紹介で、現在も残る地名、町名により、参加いただいた39名の皆さんにも、より身近に感じていただけた歴史講話会となったと思います。(岩佐純一)

事務局だより

●事務局長 名和 利夫

昨日、井の口のまちなかを歩いてみると、道路の上に白い物が点々と無数に落ちていました。また、カラスの忘れ物かと思いつつ、ふと上を見上げると、お蔵の壁が所々剥離していました。これは、過日の台風21号の置土産。その蔵も遠目には被害は分かりませんが、近くで見ると被害は明らかです。あらためて別の町家を見ると、同様に被害がみられ、屋根瓦にも被害が出ていました。

こうした台風の威力は、町家にとって脅威となります。持主の、長年にわたつての町家の維持管理へのご苦労がうかがえます。

●広報通信部会長 馬場わかよ
今年度は異常気象続き。ゲリラ豪雨に日照り、夏の猛暑は殺人的で、大型台風がいくつも襲来し、大雨災害、さらには地震まであり、日本列島の北から南まで被災しています。

当会でも雨で「セタコンサート」は何と行いましたが、「巨石石組み群見学会」は中止になり残念でした。

次々に映し出される被災状況を目の当たりにしますと、まちづくりでイベントをしている場合だと考えてしまいますが、被災地では地域の人たちの助け合いと情報収集の必要性が報じられ、住民互助はまちづくり活動に通じるものだと思います。

バス視察研修参加申込書

氏名	〒	—
住所	TEL	—
同行者名 家族のみ		
〇で囲む	会員	新規会員*

*新規会員は、参加費と今年度会費をいただきます。